

1.診療科紹介（専攻医・後期研修医向け）

項目	内容
① 診療科名	血液内科
② 診療科の特徴	同種移植、企業治験などいろいろな症例が経験できる。
③ 診療科のモットー	患者さんによりそった治療を行う。
④ 診療内容・実績 （2019年7月時点）	外来は毎日3診あり、外来化学療法や輸血治療も行っている。造血幹細胞移植は年間20例程度。先進的な治療から支持療法単独まで、患者さんに合わせた治療を行います。
⑤ 診療体制 （2019年7月時点）	血液内科指導医3名、日本造血細胞移植学会認定医3名、日本輸血細胞治療学会認定医1名など。
⑥ 診療科カンファレンス	週1回の診療科カンファレンス、病棟移植患者カンファレンス、がんリハビリ患者カンファレンス
⑦ 経験できる疾患	血液疾患全般
⑧ 経験できる技術・技能	骨髄移植や骨髄採取も経験できる
⑨ 学会について	日本血液学会、日本造血細胞移植学会、日本輸血細胞治療学会の認定施設
⑩ その他	いろいろな症例を経験でき、研修病院としては最適な病院と考えています。

2.専門研修プログラムに準拠しない形での採用の場合

項目	内容
① 取得可能な専門医	血液専門医、移植学会認定医、輸血学会認定医
② その他	企業治験や臨床研究について学び、経験することができます。

3.指導責任者より専攻医・後期研修医へメッセージ

企業治験、臨床研究、造血幹細胞移植といった先進的な治療から、地域にお住いの高齢患者さんへの対応など、幅広い症例を経験でき、研修病院としては理想的であると思います。また、研究センターが併設されているため、意欲があれば自ら臨床研究を計画したり、実験研究を行うこともできます。

名古屋医療センター血液内科後期研修医募集！

名古屋は昔から血液内科の盛んな地として有名ですが、当院は全国国立病院の中で血液内科のリーダー的病院として位置づけられています。

当院の特色は、血液内科領域におけるさまざまな症例を経験できることです。白血病やリンパ腫などの血液悪性腫瘍に対しては、JALSGやJCOGといった多施設共同研究グループに参加し、プロトコル治療を行っています。適応のある症例に対しては造血幹細胞移植も行います。日本骨髄バンクの骨髄・末梢血移植認定病院であり、臍帯血移植の認定病院でもあります。同種移植症例は年間20例強です。骨髄採取手術も年間20件程度行っており、全国でも採取件数の多い病院に含まれます。

当院は、名古屋市のやや北部に位置する総合病院であるため、今の時代を反映して高齢の患者さんも多く受診されます。さまざまな合併症をもった患者さんに対しては他の診療科と連携した全身管理が必要であり、一方年齢のために支持療法のみで対応しなければならないような場合もあります。高齢化社会をむかえ、このような患者さんを診療することは、医師として成長するのに良い経験になると思います。がん専門病院ではないので、血小板減少症や凝固異常など、悪性腫瘍以外の血液疾患の症例も豊富です。

また、当院では新薬の治験も多く行っています。治験には興味があるけれども報告書などの作成が面倒だという話もよく聞きますが、臨床研究支援室のサポートを受けているため、できるかぎり医師個人の負担は少なくなるように図られています。臨床研究や治験に参加することで、医学の発展に寄与することができます。

後期研修では、基本的に主治医となって患者さんを診ていただきます。必ず上級医とペアになって担当していただきますので、相談しながら診療を行っていくことができます。当院は日本血液学会血液専門医認定研修病院であり、骨髄バンク認定病院であり、日本輸血・細胞治療血液学会指定施設であるため、当院での経験は、血液内科専門医、造血細胞移植学会認定医、輸血・細胞治療学会認定の資格申請に使用することができます。

まだまだ難治性疾患の多い血液内科領域ですが、病と闘う患者さんのために共に働いてくれる若い先生をお待ちしています。

骨髄採取の様子

